

# 議会だより



美郷がいちばん、すきです美郷

地域に見守られながら、ゲンキに登校する子供たち。おはようございますの声も弾んでいます。(千畑南小学校での登校風景)

第 **11** 号  
2007.5.1

169億円のまちづくり	3月定例会概要	2
主な美郷づくり事業	19年度事業概要	4
19年度予算を斬る	全体質疑	6
質問内容多岐にわたる	一般質問	12
そばで夢を語る	キラリ美郷人	20

3月定例会  
主な内容

# 誇るべき美郷

## の創造に向かって

# 169億円のまちづくり



3月定例会を、2月28日から3月13日までの14日間の会期で開きました。今定例会では、平成十九年度一般会計はじめ5特別会計の当初予算や十八年度補正予算、町議会議員報酬条例の改正など41議案を審議しました。その結果、平成十九年度一般会計予算を賛成多数で、その他の議案は全会一致で原案のとおり可決しました。

# 3月定例会

## \*概要\*

### 一般会計

前年比1・3%減の  
**109億6千500万円に**

定例会初日、町長が施政方針説明で示した「誇るべき美郷の創造」をめざし、また「財政の健全化」を基本認識とした平成十九年度の各会計予算総額が169億167万8千円と決まりました。

一般会計の当初予算額は109億6千500万円、前年比1・3%の減少です。

歳入では、町税収入が三位一体改革の税源移譲や定率減税の廃止により、約1億8千万円増加して15億1千207万円（同比13・6%増）となる見込みです。

しかし、地方交付税が約1億3千万円減少して46億3千760万2千円

（同比2・7%減）、地方譲与税が約1億4千万円減少して2億7千500万円（32・9%減）となるなど依然厳しい財政運営が予測され、財政調整基金から5億6千700万円を取り崩し歳入不足に対応しています。

歳出では、

- 人件費23億1千458万5千円（同比2・3%減）
- 扶助費6億3千865万5千円（同比1・1%減）
- 公債費18億7千479万円（同比0・1%減）

を合わせた義務的経費48億2千806万円が、予算全体の44%を占め

ました。

投資的経費は、普通建設事業費12億8千237万6千円（同比7・7%増）などで、予算全体の11・7%となりました。

町では、今後も行政経費の効率化や公債費の抑制に取り組みとともに、公共施設のあり方などを根本から議論し、歳入規模に見合ったスリムな行政運営を目標とします。

### 特別会計総額

前年比0・6%減の  
**59億3千667万8千円**

特別会計の当初予算額は、

- 国民健康保険会計24億4千204万9千円（同比8・8%増）

- 老人保険会計25億9千640万6千円（同比5・2%減）

- 簡易水道事業会計4億8千860万7千円（同比19・7%増）

- 下水道事業会計1億9千758万3千円（同比45・8%減）

- 農業集落排水事業会計2億1千203万3千円（同比1・8%減）

となり、総額で59億3千667万8千円となりました。

### 報酬・給与を減額

主な条例改正では、町議会議員の報酬と町長はじめ町四役の給与を4%減額し、非常勤特別職の報酬額もそれぞれに減額しました。

また、法律改正により

「助役」に代え設置する「副町長」の数を1人とし、収入役を廃止して「会計管理者」を置くことを決めました。なお、現収入役は任期までその任にあたります。

平成十八年度一般会計補正予算では、2億1千171万2千円を追加し総額120億5千422万7千円となりました。

その他、一般質問には6氏が登壇して町政をただし、請願・陳情4件を採択しました。

以下、平成十九年度事業の主な内容を4～5頁に、本会議での主な質疑を6～9頁に掲載します。また、町広報『美郷』4月号の2～9頁にも、平成十九年度予算特集が掲載されており、ご参照ください。

## ◆自然にやさしいまちをめざして

環境保全の推進、廃棄物減量と適正処理の推進、土地の計画的利用と保全を図ります。



ISO 管理事業	116万円
最終処分場事業	542万円
不法投棄対策事業	131万円
ごみ減量リサイクル対策事業	210万円
地籍調査事業	1,861万円

19年度

事業概要

総合計画に基づき環境変化と、緊急性を考慮しながらサービス水準を維持し、効率的な事業展開を図った平成十九年度おこなわれる主な事業です。

## ◆心豊かなまちをめざして

乳幼児教育の充実、学校教育の充実、社会教育の推進、スポーツの振興、歴史と文化の保存と創造を図ります。



確かな学力定着事業	2,971万円
奨学資金事業	3,808万円
生涯学習講座・パソコン講習会	293万円
わか杉国体準備事業	1億9,634万円
ブックスタート事業	47万円
スポーツ教室等開催事業	77万円
町民スポーツ大会事業	303万円
文化財保護事業	2,757万円

## ◆快適なまちをめざして

道路交通体系の整備充実、上下水道の整備充実、快適な住宅環境の整備を行います。



幹線道路へのアクセス道路整備事業	9,097万円
幹線道路整備事業	4億3,909万円
生活密着型交通体系対策事業	2,052万円
六郷東部簡易水道事業	1億1,184万円
公共下水道事業	4,140万円
畑屋地区簡易水道事業	7,611万円
公営住宅建設事業	5,278万円
定住情報提供事業	48万円
合併浄化槽導入促進事業	4,123万円

## ◆健やかなまちをめざして

健康生活の推進、児童福祉の向上、高齢者福祉の向上、障害者福祉の向上を目指します。



健康づくり・生活習慣改善事業	391万円
こころの健康づくり事業	62万円
食育推進事業	30万円
成人総合検診事業	1億83万円
乳幼児健診事業	556万円
すこやか子育て支援事業	1,744万円
放課後児童健全育成事業	1,150万円
はり・きゅう・マッサージ助成事業	708万円
温泉無料券交付事業	468万円

## ◆活力あるまちをめざして

農林業の振興、畜産の振興、工業の振興、商業の振興、労働・雇用対策を充実します。



担い手・法人支援対策事業	998万円
夢プラン応援事業	6,001万円
地産地消支援対策事業	47万円
美郷ブランド確立事業	380万円
農地・水・環境保全向上活動支援事業	4,910万円
畜産環境総合整備統合補助事業	1億4,777万円
企業誘致推進事業費	291万円
地販地消推進事業費	24万円
美郷まるごとPR事業	40万円
集落ビジョン対策事業	120万円

## ◆町民主体のまちをめざして

信頼され親しみのある行財政運営の推進、住民参加の推進、情報化を推進します。



行政区機能強化事業	1,696万円
地域コミュニティ推進事業	200万円
協働・参画のまちづくり事業	22万円
まちづくり町民アンケート事業	38万円
男女共同参画社会推進事業	23万円

## ◆人がふれあうまちをめざして

余暇・レクリエーション施設と公園緑地の充実、ふれあい活動の推進、観光の振興、人材育成と地域・国際交流を推進します。



ラベンダーまつり開催事業	165万円
ジャズコンサート開催事業	207万円
街なみ環境整備事業	3,325万円
美郷の味販売交流促進事業	85万円
地域間交流事業費	192万円
国際交流事業	66万円

## 平成19年度におこなわれる

# 主な美郷づくり事業

## ◆安全で安心できるまちをめざして

防火・防災体制の充実、交通安全の推進、防犯・青少年健全育成を推進します。



防火設備整備事業	885万円
交通安全運動啓蒙事業	86万円
防犯対策事業	1,844万円
不審者対策事業	59万円

# 全体質疑

## 19年度予算を斬る

### 歳入

泉美和子議員 定率減税の廃止分は前年度と比べてどれくらいか？  
 税務課長 約2千400万円ほどの増となっている。

高橋猛議員 三位一体改革で国庫補助分と税源移譲は、削減額より還元額が少ないが、その点、どのようにとらえているか。  
 総務課長 三位一体改革で少しは潤えるのではないかと期待していたが、思った以上に効果があらわれていないのが現状だ。

高橋猛議員 財政調整基

金の枯渇も予想されるが、その見通しは。

総務課長 やはり、頼るところは財調基金なので、歳出でむだが出ないよう職員に認識をさせる。

### 歳出

#### ●総務費

深沢義一議員 活力ある地域づくり事業補助金の実績と要望が上回った場合の対応は。  
 町長公室長 46件あり、金額では、146万円だ。上回った場合は財政と協議の上で措置していきたい。

熊谷良夫議員 生活バス路線の高畑線が廃止となった場合、その後の措

置は。

企画課長 廃止後の代替措置を検討するため地域公共交通会議を設置する。

熊谷議員 定住情報提供事業に関する空き家・空き地情報はホームページ以外にあるのか。  
 企画課長 基本的にはホームページを活用しているが、観光情報センターなどでも情報を見れる。

深沢義一議員 国体開催に当たって、記念植樹、記念碑などを考えているか。  
 国体準備室長 そういった内容の予算は措置していない。



リハーサル大会より

深沢議員 何年か後に、また、美郷に訪れていた、深く意味でも選手の名前を記したプレートなども記念に残ると思うが。  
 町長 提案については、改めて議論する。

熊谷隆一議員 納税貯蓄組合補助金は今後も続けていくのか。  
 税務課長 単位納税貯蓄

組合補助金は、平成21年度まで段階的に削減する。また、組合員数割の部分については継続される。

高橋猛議員 各庁舎に総合窓口サービス課を配置しているが、その利用状況は。また、要望、苦情などはあるか。  
 総合サービス課長 (六郷

庁舎) 平成18年度2月現在で1万9千578件ほどになっている。その内容は、住民票、戸籍抄本、各種証明、移動届けなどが6割強で、税の収納関係が2割程度、そして国保・軽自動車関係などが0・5割程だ。

総合サービス課長 (千畑庁舎) 平成18年度2月末現在で2万623件だ。業務内容は、3庁舎とも同じようなものを扱っている。

総合サービス課長 (仙南庁舎) 平成18年度2月末での集計では8千345件だ。窓口の苦情などについては、ほとんどない状況だ。

#### ●民生費

飛澤龍右工門議員 社会福祉協議会補助金が前年比20%減となっているがこれで充実が図られるか。  
 福祉保健課長 社会福祉協議会へ行政の方から職



町内の温泉施設

員を派遣し連携を取りながらサービスの効率化を図る。

◇

中村美智男議員 千畑温泉保養所の利用券を町内全部の温泉施設で利用できないか。

◇

福祉保健課長 財源的な制限もあるので今まで通りだ。

◇

齊藤新一郎議員 はり、きゆう、マッサージなど施術費助成はすべての治療院で受けられるか。

福祉保健課長 地域によつては限定しているところもあるようだが、美郷町は特別設けていない。ただ資格は必要だ。

◇

郷町は特別設けていない。ただ資格は必要だ。

◇

澁谷俊二議員 18年度の利用者は。

◇

福祉保健課長 2月末で5千180回分だ。

◇

高橋猛議員 学童保育の方向性についてどう考えているか。  
幼児教育課長 今年度において関係各方面から意

見を聞くなど検討を行う。

◇

深沢義一議員 学童保育と、スポ少とのかかわりについて何か考えは。

◇

教育長 目的が違うので一体化はむずかしいが、今後検討する。

◇

●衛生費  
吉野久議員 仙南の廃棄物処分場は、19年度も閉鎖基金を取り崩した維持管理対応だ。このままで基金がなくならないか。

◇

住民生活課長 基金は大事に使わせていただが万一不足を期す事態に至るようであればその都度対応する。

◇

中村利昭議員 廃止後の景観が見苦しい形で残さないという約束事があるかどうか考えているか。

◇

住民生活課長 周囲の環境も考慮し総体的に遺憾のないよう対応する。

◇

●農林水産業費  
吉野久議員 農地、水、環境保全向上対策事業の内容を広く周知すべきだ。

◇

飛澤龍右工門議員 収集運搬委託料とはどういう意味か。

◇

住民生活課長 一般家庭のごみ収集委託業務を行っている3業者の委託料だ。

◇

泉繁夫議員 ごみ収集施設は何基予定しているか。

◇

住民生活課長 経費の3分2補助で7基予定している。

◇

●労働費  
鈴木一議員 出稼ぎ者の人数は。

◇

商工観光課長 175名だ。

◇

●農林水産業費  
熊谷隆一議員 羽貫谷地区圃場整備事業では隣接する六郷地区の事業要望はなかったのか。

◇

農政課長 転作推進員、行政連絡員に対し事業の内容と要望について通知している。

◇



圃場整備事業

熊谷隆一議員 羽貫谷地区圃場整備事業では隣接する六郷地区の事業要望はなかったのか。  
農政課長 六郷土地改良区を通じて地域の中で話し合いは行っていると聞いているがその結果によって事業を起こしたいという要望はない。

●土木費

熊谷隆一議員 道路の新設改良は、総合計画に基づいて実施されると思うがその見通しは。

建設課長 幹線道路を主とし、かつ生活道路を優先的に展開していく。

●教育費

齊藤新一郎議員 スクールバスを全地区で運行できないか。

学務課長 遠距離対策が目的で現段階では考えて

いないが将来構想の中で検討したい。

◇ 戸澤勉議員 各小、中学校でどんなサポート事業を行っているか。

◇ 学務課長 軽度な障害者、また、日本語の支援が必要な方のために支援している。

◇ 深沢義一議員 六郷高校、角館高校の教育振興補助金と中学生海外研修補助の内容は。

学務課長 六郷高校、35万円、角館高校7万円。

◇ 社会教育課長 予算上は15人で行き先はオーストラリアを計画している。

◇ 戸澤勉議員 千畑中学校の屋外運動場改修工事の内容は。

◇ 学務課長 フィールド、トラック内の暗渠改修、表層などの補修を考えている。

◇ 高橋猛議員 大台野多目的広場をスポ少が利用する場合、利用料を減免できないか。

◇ 商工観光課長 町民が利用しやすい料金を設定したつもりなのでご理解願いたい。

●特別会計

武藤威議員 羽貫谷地区の水量は塚地区の水源でまかなえるか。

建設課長 2月に探査した時点で容量は充分あると言う結果がでた。

一般会計予算討論

反対討論

武藤威議員 三位一体改革による、税源移譲と定率減税の廃止により、地方税額が大きく影響する。住民税増や

国保税、介護保険料の負担増となってくることで懸念されるので賛成できない。

中村美智男議員 国の財政逼迫の中、地方交付税の削減や三位一体改革などにより財政規模が徐々に縮小しているなか、平成19年度の

予算計上では、財政調整基金の取り崩しを余儀なくされている。財源に同じ、主要部署には増額といったある程度、財源範囲内の調和と均衡のとれた配分と

思われる。

森元淑雄議員 国の三位一体改革などにより、地方交付税や地方譲与税は加速度的に落ち込む中、本予算は、美郷町総合計画の着実な

推進と地域全体の一体感・醸成を目的とした予算編成であり、町民福祉の増進、住民サービスの向上や教育施設の整備などに加え、農業を中心とした地場産業振興にも配慮が見られる。

また、歳入に見合った事業展開により、均衡のとれた財政運営を目指している観点からも評価する。

また、歳入に見合った事業展開により、均衡のとれた財政運営を目指している観点からも評価する。

また、歳入に見合った事業展開により、均衡のとれた財政運営を目指している観点からも評価する。

また、歳入に見合った事業展開により、均衡のとれた財政運営を目指している観点からも評価する。

また、歳入に見合った事業展開により、均衡のとれた財政運営を目指している観点からも評価する。

また、歳入に見合った事業展開により、均衡のとれた財政運営を目指している観点からも評価する。

また、歳入に見合った事業展開により、均衡のとれた財政運営を目指している観点からも評価する。

また、歳入に見合った事業展開により、均衡のとれた財政運営を目指している観点からも評価する。

議会の動き

1月	産業建設常任委員会 所管事務調査(24日)
23日	総務常任委員会所管事務調査(26日)
25日	教育民生常任委員会 所管事務調査(26日)
2月	議会運営委員会
2日	議会全員協議会
7日	正副常任委員長会議
15日	議会運営委員会
16日	議会全員協議会
19日	議会広報特別委員会
20日	議会広報特別委員会
28日	第2回議会定例会 (13日)
3月	議会運営委員会 議会全員協議会
13日	議会広報特別委員会
4月	議会広報特別委員会
10日	議会広報特別委員会
20日	議会広報特別委員会
24日	議会広報特別委員会

# 常任委員会審査

## 総務委員会

### 歳入に質疑集中

今定例会では、より深い議論を重ねるため、合併後初の試みとして予算を分割しての委員会審査がおこなわれました。総務委員会においては、歳入全般と、歳出の議会費、総務費、農林水産業費の国土調査費、商工費、土木費の都市計画費、公債費、諸支出金、予備費を、2日間にわたり審査しました。その結果、全会一致で可決すべきものとなりました。

### 歳入

**質** 町民税で、定率減税廃止と税源移譲で増える分はいくらか。

**答** 定率減税廃止で2千400万円、税源移譲で1億9千500万円だ。

**質** 温泉の入浴料40

0円が、部屋を借りた場合450円になる理由は。

**答** 貸し部屋利用を贅沢なものとして、1500円の入湯税になる。

**質** 納税額で決まる保育料区分の、定率減税廃止での影響は。

**答** 現在7区分だが、例として6万4千円未満

の方が7万円に変わる可能性はある。

**質** 社会体育で使用したアスパルの代替施設と、リリオス減免をどう考える。

**答** 美郷町全体の中で割りあてたい。減免は、19年度の利用状況を見て判断したい。

**質** 生活路線バスの県

補助金の見通しは。

**答** 県補助は市町村補助の6分の1だが、本来市町村が担う役割との考えであり期待できない。

**質** 空き店舗対策の県補助は廃目だが、町単独でも継続できないか。

**答** 住民ニーズがあれば、その都度対応する。

**質** 総合検

診料増の理由と、乳ガン検診対象年齢引き下げの考えは。

**答** これまで千円だったが、地域でも一番低く千300円とした。乳ガン検診は、国の指針に基づいて

**質** 延長保育保護者負担分50円は必要ないのではないか。

**答** 子供にとって、長時間園内にいること自体が好ましくなく、早く迎えに来ていただく意識醸成のための負担だ。

**質** 町債残高の今後の見通しは。

**答** 返す金額より多く借りない方針だ。

### 歳出

**質** ISO14001の効果と地域波及への考えは。

**答** 光熱費が2%削減した。町民は、環境問題の重要性を認識していると思う。

**質** 行政区再編の協議状況は。

**答** 29行政区で合併協議が整い、12行政区として4月スタートする。来年4月スタートが6行政区で2行政区になる。再編意志なしが3行政区。意向はあるが時間がかかるが18行政区。また、25行政区がはつきりしない状況だ。

**質** 公共施設再検討委員会の今後の進め方は。

**答** 現状を調査して職員プロジェクトで検討し、町民の意見を聞き決定する。

**質** 美郷まるごとパツクの内容は。

**答** 国体開催時、町のPRを入れた共通の包装紙や紙袋を制作し、千円程度の美郷町の物産を贈りたい。

**質** 国体と地域・町民の関わりは。

**答** 民泊、自転車ロードレースでの応援、協力を立ち上げての美化運動、また、直接競技にたずさわるボランティア活動などがある。



# 教育民生委員会

## 町民生活に配慮

教育民生委員会に付託された民生費、衛生費、消防費、教育費、国保・老保特別会計を2日にわたり審査しました。

その結果一般会計を賛成多数で、特別会計を全会一致で可決しました。

**質** 道路の安全施設の点検、六小前の信号の設置、防犯灯は、

**答** 道路の点検は、住民生活課、建設課、交通指導隊、交通安全協会、警察が、協議して行っている。信号機の設置については、毎年要望書を出しているが、予算の関係で、順番待ちの状態のよう

だ。防犯灯については、19年度20基新設の予定だ。

**質** 社協の補助金が減額になっているが。

**答** 補助金は人件費分が多いが、介護保険事業

ら対策をとるが、本来はモラルの向上が大事だ。

**質** ゴミの有料化については。

**答** 有料化に向けて検討されているが、ゴミの再資源化と、可燃ゴミを少なくする事が大事だ。

**質** 各種検診料は同じか。

**答** 基本検診で300円、胃検診が400円、大腸がんが2000円値上げになる。実際には基本検診で8千114円かかっている。

**質** ゴミの不法投棄対策はもっと工夫が必要でないか。

**答** 目立つ看板の設置と、警察の協力を得なが

は2億4千万円ほどだが、今年度は1億370万円

などの工事をする。千畑中はグラウンドを改修する。

**質** 医療費の引き下げのために各課横断して対応できないか、また、国



保税の滞納の状況は。  
**答** 各種検診などを活用して、病気予防に努めていく。課を越えてはできない部分もある。滞納されている方は、とにかく役場に相談して頂きたい。

### 反対討論

泉美和子議員 各種検診料金の値上がり、学校給食センターの職員の給料が引き下げの内容であり、予算案には反対だ。

### 賛成討論

中村利昭議員 厳しい財政状況の中で行きわたっている予算なので賛成する。  
熊谷良夫議員 緊縮予算の中で、大規模改修や、検診など必要な事業が計上されており、賛成だ。

# 産業建設委員会

## 農業振興に質疑集中

産業建設委員会に付託された一般会計歳出、土木費、農林水産業費と、簡易水道事業、下水道事業、農業集落排水事業の各特別会計を2日間にわたり審査し、それぞれ全会一致で可決すべきものとしました。

### 土木費

#### ●道路橋梁費

質 除雪機械2台購入の内訳は。

答 13 t級ドーザーと1・3 t級歩道用ロータリーだ。

質 除雪機の総台数と平均的な年間修繕費は。

答 52台で約3千万円程だ。

質 農地、水環境対策事業と道路維持費についての関わりは。

答 関係部署との話し

合いを予定している。

質 除雪運転手賃金の内訳は。

答 六郷、仙南地区の臨時職員賃金だ。

質 融雪剤散布車の台数と、害はないか。

答 3地区1台ずつで、害についての報告はない。

#### ●下水道費

質 合併層から出される水質基準は。

答 BODで50ppm、SSで20ppmと下水道と変わらない水質基準だ。

### ●住宅費

質 町営住宅への手すり要望への対応は。

答 必要と思われる箇所については対応している。

### 農林水産業費

#### ●農業費

質 農業者年金の支給、加入状況は。

答 年金受給者が千213人で、新制度加入者が114人、旧制度加入者が669人だ。

質 フロンティア農業者研修奨励補助金の内容は。

答 試験場での研修で、19年度は男子2名・女子1名で、月額7万5千円の支給で町が3割負担している。

質 有害鳥獣駆除事業委託費の内訳は。

答 3地区にある猟友会への委託料として1団

体10万円ずつだ。

質 集落ビジョン対策事業補助金については、農地、水対策事業から外れた地域に対する町独自の手当であるが、その内

容は。

答 農地、水から外れた集落は、53地区、千038戸、約千700haで、

農村の総合的な部分を話し合ってもらうための補助で、手挙げ方式で事業の申請があった集落に地区割5千円、戸数割1戸

当り900円を想定している。

質 羽貫谷地区の圃場整備事業計画の見直しは。

答 平成19年度に申請事業を進め、面工事に入るのは3年後と想定される。

質 土地改良区の合併特例補助金の内訳は。

答 合併した土地改良区へ単年度に限り1ha当り千円を支援するもので、仙南と旧前郷との合併千200ha、南旭川水系と金沢西根との合併900haに対して交付するものだ。

#### ●林業費

質 町内での松くい虫の被害状況と対策は。

答 深刻な状態であると認識しており、毎年、3年に一度の樹幹注入をして被害防止につとめている。



一般  
質問

町政を問う

\*質問内容

多岐にわたる

3月5日、一般質問がおこなわれ6氏が登壇し町政をただしました。その内容は、集落営農など農業問題や下水道加入率の問題、消防団の今後のあり方や課題解消に向けた産業振興、公共施設の統合問題や町長の政治姿勢についてなど多岐にわたりました。

質問者

武藤 威 議員  
吉野 久 議員  
森元 淑雄 議員  
熊谷 隆一 議員  
福田 守 議員  
泉 美和子 議員

# 零細農家も支援すべきだ 自主的に参画できる制度だ

**武藤威議員** 品目横断的経営安定対策事業の集落営農についてうかがう。

- ① 組織づくりの状況。
- ② 員数合わせの集落営農組織はないか。
- ③ 組織と個人担い手間での作業料金差問題が起きないか。
- ④ 構成員と組織自体の課税、また消費税の関係はどうなる。
- ⑤ 面積要件緩和の考えはないか。
- ⑥ 経理一元化の撤廃、経理関係者配置への支援を要望する。
- ⑦ 認定農業者との連携と農機具更新への助成制度を要望する。
- ⑧ 中山間地域直接支払い制度の要件緩和と要望の考えはないか。
- ⑨ 取り組み遅れの地域もあり制度実施延期の働きかけをすべきだ。
- ⑩ 地域農業存続が食糧を守る担い手と位置づけ零細農家も支援すべきだ。

**町長** ①集落営農組織が51組織、法人が7法人設立している。②趣旨周

知と認識が徹底されており員数合わせの組織はない。③農業者が協働作業を行う団体で組織外作業は受託せず問題は起きない。④国税当局が判断すべき事項であり答弁できない。⑤農家の主体性が

必要な対策だが進捗率を勘案すれば緩和の必要はない。⑥一元化撤廃は対策の根幹を崩す。また、経営は自らおこなうことが基本だが研修機会を設ける。⑦連携は必要で農地・水・環境保全対策で方針を指示している。機械の新規取得には助成制度があるが更新には難しい。⑧会計監査院の指摘による対象農用地の厳正な取り扱い通達があり緩和を要望できない。⑨新制度開始まで1ヶ月の現在時点で加入申請が整った組織が多数あり考えていない。⑩この対策は規模の大小にかかわらず農家自身の主体性により参加可能な制度だ。

可能な制度だ。

## 高上げ助成の考えは

**武藤議員** 農地・水・環境保全向上対策についてうかがう。

環境重視の農業生産に助成する考えはないか。また、地域住民の参加や交流の場、高齢化や混在化の割合に地域差がある。その対策と支援をどうするか。

そして、活動組織の経理と税金関係はどうなるか。

**町長** 2階建て対策として、環境負荷低減の取り組みに対し10アールあたり6千円助成する。また「美郷こだわり米元気事

業」として町独自の支援も準備する。

地域差対策では、交付金が地域の実態に即して効果的に活用されるよう指導する。

経理は、関係団体の協力が得られる体制だ。また税金は、組織には課税されないが、個人は申告が必要だ。



座堂線と、本堂・百目木線は交通量が多く、以前から歩道要望などがある。町の年次計画に組み入れらるべきだ。

**町長** 湯竹・座堂線は、総合計画の後期計画期間内に整備したい。本堂・百目木線は、同地区の基盤整備事業の中で取り組むよう、県・土地改良区と調整している。

## 改良工事を年度計画に

**武藤議員** 湯竹・山根・

**武藤 威議員**

## サテライト六郷…全力対処を望む

## 最善の努力を重ねる

吉野久議員 2月19日、サテライト六郷の幹事施行者『東京都市収益事業組合』の競輪事業撤退と、新たな施行者として立川競輪への折衝が報告された。

この施設は、これまで町財政や雇用面で大きな役割を果たしてきた。町はこの事態に全力で対処すべきと考え質問する。

①立川競輪との折衝状況と見通し。②今後、使用頻度が減少すると思われる『ふれあい広場』の有効活用。③町として全力で補償交渉すべき従業員の処遇。

町長 ①現在、情報収集に努めているが、年度内に新たな幹事施行者が決定するよう最善の努力を重ねる。

②サテライト営業時は別として、美郷町の中央地区で国道の至近距離にある立地を踏まえ、商業・観光振興にかかわるイベントや交流促進を観点とした有効活用を検討したい。

③新しい幹事施行者が決まった段階で、できる限り再雇用が確保されるよう働きかける。

## 下水道…加入率の向上を

吉野議員 住環境と町財政を勘案し、公共下水道の加入率向上が喫緊の課題と考え提案する。

①『水洗便所改造資金融資あつせん要綱』の改正として、敷設後3年以内の期限撤廃と会社や新築への対象拡大、2名の連帯保証人見直しと80万



吉野久議員

円の限度枠拡大。②町民へのさらなる働きかけとして、職員体制の強化とチラシ配布や座談会でのPR、戸別訪問の実施。

③地下水保全と関連した町民への啓蒙として、地下水保全条例や地下水を公水と捉えた地下水利用組合の検討。

地下水が、無限でただの意識を払拭しなければ大切な宝物を失いかねない。また、この取り組みが将来の町民に誇れるまちづくりと考える。

町長 ①現在、徐々に加入者が増加しているが、なお一層の取り組みが必要と認識し要綱改正を検討している。内容は、3

年以内の期限緩和と新築家屋などへの対象拡大、融資枠の再検討。連帯保証人の人数は金融機関と協議する。

②広報でのPRなどこれまでの働きかけを継続し、要綱改正を踏まえた制度周知を検討して促進努力したい。増員は、職員漸減のため困難だ。

③条例は、地下・地表水環境共に包含した概念で検討し年度内制定を目指す。組合は、私水・公水の議論もあり条例検討の際併せて議論したい。

## 交声曲の創曲を

吉野議員 国体セレモニーでは、美郷町ならではのホスピタリティー発揮と演出を望む。

時間的に可能なら、旧3町村の歴史・文化や風

土を題材とし、美郷町の未来を最終楽章とした4部構成の交声曲を創曲して披露してはどうか。

この交声曲を、各地域の学校や合唱サークルで歌い継ぎ、毎年町民が一堂に会して楽しむコンサートが開かれるなら、美郷町の一体感形成に寄与すると考える。

町長 国体では、市町村での競技別開会式を原則行わない方針だ。しかし、できる範囲で美郷町らしさを演出したい。

交声曲創曲は、現在、制定した町民歌やイメー・ジソングの浸透が大切であり制作の考えはない。また、国体開催そのものが一体感の醸成につながるよう、町民総参加を推進したい。



サテライト六郷とふれあい広場

# 「ゆとり」は生まれたか 生まれたと認識している

森元淑雄議員 本町は、このゆとり教育についてのゆとり教育についての総括評価をしているのか。

また、教育委員会としては、制度の是非と児童生徒の学力低下防止に對してどのような方策を持っているのか、次の点に關してうかがう。

①制度によって本当に「ゆとり」が生まれたのか。

②家庭や地域での制度に對する認識はどの程度と把握しているのか。

③学校現場での対応は。④勉強離れや学力低下に對する委員会としての方策は。

教育長 各学校が創意工夫して、これまでの教科の枠を超えた活動を実践している。

①学習の幅、内容の広がりという意味においてゆとりが生まれたと認識している。

②家庭、地域での理解

も得られているものと思われ。

③本町の小・中学生は、全県平均を上回っている現状であり、何ら劣っていないものと確信している。

④教育委員会としては、支援を要する児童生徒への個別学習や、非常勤職員を各学校に配置している。

## 本堂地区の基盤整備事業どのように

森元議員 平成19年度の面工事業積が確定されたと共に、百目木地区の道路拡幅に對する要望が出されているようだが、町としてはどのような取り組みをしようと考えているか。併せて、整備事業と環境保全に關しては、どのように捉えて事業を展開していくつもりか。

町長 要望趣旨を具体化

する取り組みについては、本堂地区の基盤整備事業の中で県と土地改良区と調整している。また、幅員及び構造についても県が事業主体として、取り組んでいくことと思う。

また、基盤整備と環境保全は、土崎小荒川地区の整備事業と同様な考え方で臨む。

## 今後の消防団のあり方は

森元議員 昨今各団の現状は若い団員の加入に乏しく、高齢化が進んでおるのが実態だ。消防団の現状を考え、地域住民の



乳児検診

生命の保護と町の将来を見据えた時、今後の分団及び班体制に對する考えは。

## 「こんにちは赤ちゃん」事業の内容は

森元議員 平成19年度よりスタートする「こんにちは赤ちゃん」事業について、町としてはどのような取り組みを検討しているのかをうかがう。

町長 各地区ごとに分団内班体制に差異があり、これを解消し、緊急時の班内対応人員について、機動体制の統一化を目指したいと考えている。

町長 美郷町においては、保健師がすべての乳児に對して生後4ヶ月まで新生児訪問、乳幼児訪問を実施している。この活動がまさに「こんにちは赤ちゃん事業」に当たると認識している。

森元 淑雄 議員

# 産業振興へ大胆な展望を 県や近隣市と連携で取り組む

熊谷隆一議員 町民融和と地域バランスに配慮した美郷町の町づくりは、誕生してから、2年4カ月ながら、町民の一体感が醸成されて来ていると感じる。だが、国の構造改革によって公共事業が減り、建設業は大変厳しい状況にあるし、基幹である農業も、米価下落の影響を強く受けている。

この現実を踏まえ、町の経済を豊かにし、課題を解決していくには、産業振興の展望を大胆に描くべきでないか。隣県岩手の金ヶ崎町の自動車工場の例もある。また、秋田県でも自動車産業や航空機産業など、製造業の誘致の動きが見られる。町の積極的な取り組みを期待したいが、

町長 これまで、町内企業ガイドを作成したり、美郷町企業連携協議会の設立を期に、企業間交流や研修を図るなど、町内企業への支援をしている。企業の中には、自動車関連部品製造への事業拡大や、工場増設など、新規雇用の増加が見込まれる所もある。

新たな企業誘致に係る取り組みについては、県企業誘致推進協議会への参加や太田区の太田工業連合会と町内企業との意見交換会の開催をしている。県が進める、自動車産業や航空機関連産業の誘致については、県の取り組みに参画し、町も含めて、通勤可能な近隣市との連携した取り組みで、新規雇用の拡大を図りたい。



熊谷隆一議員

## 荒れた河床の管理は 県に要望、町でも調査し対応す

熊谷議員 町では水を大切な資源と位置づけ、環境保全の各種施策がとられている。土岐地区の下川原橋付近では、11月頃になると、サケの産卵する姿を見る事が出来る。これは水質改善の表れだと思ふ。これまで、

調査と対策が必要と考えるが。

町長 一級河川は県の管理となっており、しゅんせつや伐木も県が行っている。

いるが、除去した堆積物の処理費用の関係などから、事業実施まで時間がかかっている。引き続き要望していくが、町管理河川については調査し対応していく。17年度は丸子川妻の神地区での洲さらい、出川釜蓋地内の伐木、18年度は、真昼川の川原地内で護岸工や、善知鳥川での床固め河道整正事業を実施している。

河川の管理は、各農家や、河川愛護会が中心となつて堤防の草刈りなど、行われているが、真昼川や、赤倉川など、河床に大量の土砂が堆積し、木が生えて、林の様な状況の川がある。防災の面や、景観維持の観点から早急な



真昼川

# 公共施設の統廃合は 早期に方針を示す

福田守議員 合併後2年が経過し予想以上に財政が逼迫している。現在、目に見える形であらゆる科目の補助金の削減、給与などのカットでしのいでいるが、これだけではそう長くは続かないと思う。今後公共施設の統廃合を早期に進めるべきと思うが、また、役場の分庁方式についてもあわせてうかがう。

町長 合併の意義や目的を考慮するとともに、今後の政策財源の確保を見通すと、現在そのまま公共施設を管理運営していくことは厳しい状況にあると認識している。具体的には町で管理運営している公共施設の利用状況、管理運営費などの調査を行い関係各位にも意見交換しながら、できるだけ早期に方針をまとめるように努める。また、分庁

方式については、旧町村の庁舎が合併後も存続することから町民の安心感確保という観点で大きな役割を果たしてきたと認識している。合併後の不安感が次第に解消されてきており、さらに職員が

漸減している状況の中で円滑な業務推進を果たすには、この方式を維持するのは困難と思う。今後公共施設のあり方を検討する中で方向性を見い出したい。



福田 守議員

## 小学校の統廃合は 検討委員会を立ち上げる

福田議員 少子化問題に伴い学校の(特に小学校)統廃合も今後視野に入れていかなければならないと思う。出来るなら地域と共有し、伝統ある学校を守りながらこのままの姿で子供たちに学んでほしいが、学校教育は知識を教えると共に集団生活の中で組織の一員としての自分の役割、立場などを自然な形で理解しながら育つことが大事と考えらる。このような中で県内でも統廃が進んでおり、羽後町・仙北市の角館でも統廃になっている。美郷町はどのように考えているか、また、給食センターについて今後、生徒

数が減少した場合再統合もあるのかうかがう。  
町長 現在、小・中児童生徒数は千817人で10年前より868人減少している。このような状況と観点から、19年度において学校と地域の関係も認識しながら望ましい学校教育の将来構想について学区再編も視野に入れて検討委員会を立ち上げる。また、給食センターについては状況を考慮すると、これまでどおり2センターで提供するのが望ましいと考えている。

## 町長の政治姿勢は

## 合併本旨による町づくり

泉美和子議員 町長は町政運営の基本方針の中で、「合併の本旨に立ち返り、かつてはこうだったと言う認識を改め、公

共施設のあり方など根本から議論し、歳入規模に見合ったスリムな行政運営を模索していく」と述べているが、合併の本旨とはどういうことか、むだをなくすことは賛成だが住民サービスの後退に

ならないようにすべきと考える。また、次の5点について町長の考えをうかがう。

①可燃ゴミの有料化について検討・調整とあるが負担増は極力避けるべきと考える。

②障害者自立支援法において障害者の負担軽減は重要な課題であり、特に

低所得者・障害者家庭への支援を拡充することが急がれるが、町独自の軽減策を求める。

③学区再編を視野に入れた学校教育の将来構想、望ましい学校規模のあり方や、教育環境について検討する委員会の設置とあるが、学校の統廃合を視野に入れたものと感じられ、慎重を期すべきと思う。

④目標管理制度の導入については、成果主義の根幹をなすものであり、人事や賃金に格差をつけることにつながり、住民サービスの低下につながりかねないと考ええる。また、人事評価制度の導入でも職員理解が肝要となるなど施行との注意も挙げられており、これをどうクリアする考えか。



泉 美和子 議員

⑤子育て新税に対する町長の見解は。

町長 地方分権社会、少子高齢化社会への対応、そして厳しい財政環境に對することが合併選択の本旨であり、想定以上の厳しい環境の中で、改めてその主旨に立ち返って

美郷のまちづくり事業や制度などを考え直していかなければならないものと認識している。

財政に限りがある以上将来を見据え、町が破綻しないよう最善の対応をし、住民福祉の向上に努めていくのが行政に携わる者の責務と考える。

①ごみの搬出量が年々増えつづけ、新処分場の整

備工事に着手したところであり、有料化はどうしても負担増の方向に向くものと思われる。住民各位からご理解をいただける内容になるよう留意したい。

②負担上限額の設定や定率負担の個人減免など、今回の改善策により負担軽減が図られており、町独自の軽減策は考えていない。

③児童・生徒数が減少し、学校の小規模化が進む中で、適正な学校規模や教育環境のあり方について検討してもらうための委員会を立ち上げ、地域と学校の関係なども認識しながら慎重を期し方向性を見いだし

たい。

④職員能力の向上と職員間のコミュニケーションの向上を目的としたものであり、人事や、賃金への格差、あるいは住民サービスの低下につながるものではない。

⑤具体が見えない段階であり、もう少し説明をうかがいたい状況だ。



## 提出議案一覧

- 議案第2号 秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び秋田県市町村総合事務組合同規約の一部変更について
- 議案第3号 大曲仙北広域市町村圏組合同規約の一部変更について
- 議案第4号 大仙美郷環境事業組合同規約の一部変更について
- 議案第5号 市町界の変更について
- 議案第6号 美郷町課設置条例の一部変更について
- 議案第7号 美郷町副町長定数条例の制定について
- 議案第8号 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 議案第9号 美郷町議会議員の報酬及び費用弁償などに関する条例の一部改正について
- 議案第10号 美郷町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 議案第11号 美郷町町長、助役及び収入役の給与及び旅費に関する条例の一部改正について
- 議案第12号 美郷町教育委員会教育長の給与及び勤務時間などに関する条例の一部改正について
- 議案第13号 美郷町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- 議案第14号 美郷町職員などの旅費に関する条例の一部改正について
- 議案第15号 美郷町肉用牛導入基金条例の一部改正について
- 議案第16号 美郷町税条例の一部改正について
- 議案第17号 美郷町学校給食センター設置条例の一部改正について
- 議案第18号 美郷町体育館設置条例の一部改正について
- 議案第19号 美郷町体育館使用料徴収条例の一部改正について
- 議案第20号 美郷町特定地区公園条例の一部改正に付いて
- 議案第21号 美郷町基幹型在宅介護支援センター設置条例の廃止について
- 議案第22号 美郷町地販地消推進条例の制定について
- 議案第23号 美郷町営住宅条例の一部改正について
- 議案第24号 美郷町下水道条例の一部改正について
- 議案第25号 美郷町簡易水道事業特別会計への繰入額について
- 議案第26号 美郷町下水道事業特別会計への繰入額について
- 議案第27号 美郷町農業集落排水事業特別会計への繰入額について
- 議案第28号 平成18年度美郷町一般会計補正予算第6号
- 議案第29号 平成18年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第4号
- 議案第30号 平成18年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第5号
- 議案第31号 平成18年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第4号
- 議案第32号 平成19年度美郷町一般会計予算
- 議案第33号 平成19年度美郷町国民健康保険特別会計予算
- 議案第34号 平成19年度美郷町老人保健特別会計予算
- 議案第35号 平成19年度美郷町簡易水道事業特別会計予算
- 議案第36号 平成19年度美郷町下水道事業特別会計予算
- 議案第37号 平成19年度美郷町農業集落排水事業特別会計予算
- その他発議案4件

## 美郷町議会 「全国優良町村議会」表彰

2月22日、第57回秋田県町村議会議長会定期総会が秋田県市町村会館で行われ、美郷町議会が平成18年度全国優良町村議会として表彰されたことにより、伊藤議長が代表して伝達を受けました。また、平成18年度自治功労者表彰として鈴木一議員、武藤威議員、熊谷良夫議員、吉野久議員の4名が表彰されました。



## 陳情・請願

### 陳 情

#### 採択しました

- 地域別最低賃金の引き上げと最低賃金制度の改定を求める陳情

秋田県春闘共闘懇談会

代表委員 中村 秀也

- 労働法制の改善を求める陳情

秋田県春闘共闘懇談会

代表委員 中村 秀也

- 公共サービスの安易な民間開放に反対し国民生活の「安心・安全」の確立を求める陳情

秋田県国家公務員労働組合共闘会議

議長 藤原 孝寿

#### 主旨採択しました

- 米価下落に影響を及ぼす低品位米と政府備蓄米の流通見直しを求める陳情

生き物共生農業を進める会

代表 今野 茂樹

### 請 願

#### 採択しました

- 日豪 EPA 交渉に関する請願書

秋田おぼこ農業協同組合

代表理事組合長 藤村正喜



## そばで夢を語る

伊藤芳美さん(上)  
川村継美さん(右)

「そばの会」。巷ではほとんど知られていない同好会が仙南地区にある。

5年ほど前、同級生数人がいつものように目的のない飲み会をしていたとこのこと、退屈だ「何がおもしろいごどねがや」と、そのとき一人が「俺そば打ったごどあるで」と言ったそう「うだ」したら打ってみればね「これが誕生のきっかけとなったそうだ。

そば打ちは、最終型が四角になるように打てないと一人前とはいえないそうだが、実際に打ってみるとうまくいかない。

失敗の繰り返しで数年が過ぎた。最近やっとそれらしい形に打てるようになったとの事。

会は、2ヶ月に一度のペースで開催されるが、今では会員が20名ほどになり、趣味の集まりで始まったそば打ちも最近では将来構想も出始めて、美郷産のそば粉を使ってゆくゆくは美郷の「ブランド」として売りたい。といった、大きな夢を語り合うまでになつてきたという。

夢が叶うことを願い取材を終えた。

### ■問合せ先

美郷町仙南「居酒屋えびす」  
TEL 0187-83-2522

### 編集後記

黄色い帽子の登下校を見るたびに、かつて読んだ六小一年生の詩を思い出します。

お母さんがぎをつけてねと  
いった▼ぼくははいと  
いった▼お母さんのこえがついてきた▼  
▼がっこうまでついてきた。

こどもを思う親心、親を慕うこども心はいつの時代も変わりません。その視点に立つて、平成19年度予算でも児童福祉向上のための様々な取り組みをしています。

全てが、こどもたちの健全な成長のために。

(吉野 久)



議 長 伊藤 福章  
広報委員長 吉野 久  
同 副委員長 杉澤 隆一  
同 委員 熊谷 隆一  
同 委員 鈴木 良勝  
同 委員 森元 淑雄  
同 委員 深沢 義一

次回定例会は、6月中旬の開会を予定しています。傍聴をお待ちしています。